

基本方針	生涯にわたるスポーツの推進
------	---------------

1 基本施策（計画登載事項）

基本 施策	(1) 子どもの体力づくり	・関係団体と連携して、幼児期における運動機会の創出と運動習慣の定着。 ・スポーツ少年団・部活動を通じて、楽しさや喜び、精神的充足や自主性、協調性を養い、運動習慣の定着と体力の向上につなげる。
	(2) 働き手世代のスポーツ機会の拡充	・それぞれの年代に合わせたスポーツ機会の創出、充実を図るとともに、イベント情報などを積極的に提供。 ・スポーツ教室やイベントを開催し、生活習慣病予防を促進。
	(3) 高齢者・障がい者スポーツの推進	・関係団体と連携しながら、スポーツ機会の拡大を図るとともに、スポーツを通じた交流機会の拡充が図られるよう支援。 ・高齢者の体力づくりや生きがいづくりによる健康寿命の延伸。
	(4) 競技力の向上	・関係団体と協力してスポーツクリニックの開催など一流選手に触れる機会を提供し、選手の意識と競技力を向上。 ・合宿誘致による市内中高生との合同練習や試合を通して、競技力を向上。

2 基本施策の進捗状況・実績

No	基本施策・主な事業	主な取組と成果	評価
(1)	子どもの体力づくり	・子どもたちを対象に、スポーツ教室とジュニアスポーツ塾を開催し、スポーツに触れる機会の増加を図った。【市】 スポーツ教室：５教室（８種目）、ジュニアスポーツ塾：30回 延べ145人参加。 ・公立こども園３園で、大船渡市スポーツ協会主催による体育教室を年２回ずつ開催した。【市スポーツ協会】 実施時期：５月・10月（３園いずれも）、対象園児：年中及び年長クラスの園児 ・大船渡市スポーツ少年団登録団体に運営費を助成し、子どもたちの受け皿となる団体の育成に努めた。45団体、831千円。【市】 ・部活動の地域クラブへの移行に向け、実証事業を実施し、体制整備等の取組を推進した。【市】	関係団体と連携し、子どもたちがスポーツに親しむための環境づくりに取り組み、運動習慣の定着、体力づくりが図られた。
(2)	働き手世代のスポーツ機会の拡充	・市内スポーツ施設及び学校体育施設をスポーツの場として提供することにより、スポーツ機会の確保を広く図った。16施設、15校。【市】 ・一般を対象に、市民体育館で市民体力測定会を実施した。５人参加。【市】 ・一般を対象に、スポーツ教室と親子参加型イベント「ファミリーウォーキング」を開催した。【市】 スポーツ教室４種目、ファミリーウォーキング１回 延べ164人参加。	年間を通じてスポーツ施設及び学校体育施設を開館できた。 また、スポーツ教室やウォーキングイベントの開催により、市民の健康づくりが図られた。
(3)	高齢者・障がい者スポーツの推進	・岩手県障がい者スポーツ協会と連携して、卓球バレー及びボッチャ大会（大船渡さんまカップ）を開催した。【市】 ・大船渡市老人クラブ連合会主催の各種大会に参加した。【市老連】 ゲートボール大会（５月）、グラウンドゴルフ大会（10月）、親睦交流大運動会（10月）、ボッチャ大会（１月） ・市内11地区で実施する高齢者を対象とした生きがいセミナー及び地区連携講座において、ニュースポーツを計15回実施した。【市】 ・気仙地区身体障がい者スポーツ交流会は、新型コロナウイルス感染症が５類に移行したものの、参集による開催で感染の拡大が懸念されることから開催しなかった。 ・介護予防教室として「体力づくり講座」を開催した。【市】 ・地域の高齢者交流サロン（自主活動）において、「ノルディックウォーキング」「ボッチャ」「グラウンドゴルフ」「百歳体操」「ふまねっと」「卓球」などを実施した。【市】 ・市内５会場で「健康づくり座談会」を開催し、地区のウォーキングマップ作成、気仙語版ラジオ体操などを通じて、身近な場所で手軽にできる運動の普及に取り組んだ。【市】 ・健康づくり推進員と連携し、地域公民館等で健康教室を開催し、講話と軽運動・ラジオ体操などを行った。（７回開催）【市】 ・健康づくり座談会を開催し、骨粗鬆症をテーマとして講演と実技を行った。（１回開催）【市】	新型コロナウイルス感染症の影響により一部で大会の中止があったものの、高齢者や障がい者のスポーツを通じた交流や健康づくりの場をつくることができた。
(4)	競技力の向上	・全国大会などに出場する選手、団体に対し、激励金を交付した。15件、210千円。【市スポーツ協会】 ・本市の競技団体の発展に貢献あるいは国体などで優秀な成績を収めた個人・団体を表彰した。２団体、10個人。【市スポーツ協会】 ・スポーツ協会加盟団体の岩手県民体育大会の選手強化費及び派遣費を助成し、競技力向上と大会参加促進を図った。2,514千円。【市スポーツ協会】 ・本市においてスポーツ合宿を行う団体に対して、スポーツ合宿補助金を交付した。２団体(延べ宿泊176人、270千円交付)【市】 ・９人制実業団バレーボールチーム「デンソーテンレッドフェニックス」によるバレーボール教室を開催。気仙管内の小中高生95人が参加し、レベルの高いプレー、指導に触れる絶好の機会となった。【市】 ・社会人バスケットボールチームによる、小中学生を対象としたバスケットボール教室を開催した。（小中学生・監督90人）【市】 ・中学校の部活動における専門的な指導機会の提供と、地域クラブ移行後の指導者となりうる人材を確保するため、運動部の部活動指導員５名を配置した。【市】 ・小中学校の児童生徒に知識技能の向上の機会を与え、体育活動の充実を図るため、気仙管外で行われる岩手県大会等への出場に要する経費（旅費、宿泊費）を予算の範囲内で補助した。（決算額：2,173,580円）【市】	全国大会・県民体育大会等への出場に伴う激励金や派遣費用等の助成により、活動の支援と意欲の向上が図られた。 また、子どもたちを対象に、実業団等チームによるスポーツ教室の開催や、部活動指導員による専門的な指導を行い、競技力の向上が図られた。

3 指標達成状況と進捗度評価

指 標	単位	基準値	実績値				目標値		達成率	達成率区分	進捗度評価
		R1	R2	R3	R4	R5	R5	R10			
日頃から継続してスポーツを行っている市民の割合	％	15.5	15.2	13.5	14.2	13.2	17.0	19.0	77.6	b	
市内スポーツ施設の利用者総数	人	276,006	209,345	226,638	236,994	219,367	260,500	245,000	84.2	b	B

※達成率＝目標年度の直前年度における実績値／目標値×100。達成率区分＝a:90％以上、b:70％以上90％未満、c:50％以上70％未満、d:50％未満。

4 課題

【課題】
子どもの体力低下と運動機会の創出
働き手世代を中心としたスポーツ機会の不足
高齢者・障がい者スポーツの環境づくり
中高生を中心とした競技意欲・意識の向上につながる他地域との対戦・交流機会の増加
地域クラブ移行後の指導者の確保

5 施策・事業の方向性

【方向性】
・少子化の進行やニーズの多様化など、スポーツ活動に取り組む子どもたちを取り巻く環境は変わってきており、こうした時代の変遷に則した在り方を検討しながら、スポーツ教室の開催やスポーツ少年団活動の支援を通じて運動機会の創出と運動習慣の定着を図る。 ・他世代に比べ、働き手世代を対象としたスポーツ機会が少ないことから、スポーツイベント等の情報が広く行き渡るよう、SNSなどを活用し情報発信を図る。 ・生活習慣病予防など、普段の生活の中で体を動かす習慣化を図るため、介護予防や健康推進の部署と連携を深め、市民の健康に係る事業を展開する。 ・高齢者・障がい者スポーツ関係者と連携を図り、スポーツに触れる機会や交流機会の拡充を図る。 ・合宿誘致により、市内中高生との積極的な対戦を促し、競技力の向上につなげていくことに加え、宿泊や観光展開等、交流人口の拡大を見据えた取組を推進する。 ・大船渡アスリート応援団の取組等を踏まえながら、トップアスリートの専門性の高い指導等に触れる機会を提供し、競技力向上につなげる。 ・各競技団体等と連携し、指導者確保に取り組むとともに、指導者を対象とした研修会の開催や認定指導者資格取得のための助成などを通じて、指導者の更なる育成・充実を図る。